

教科	国語	科目	論理国語	学年	3年（普通科、園芸クリエイト科）	単位数	2
教材	教科書	新編 論理国語			出版社名	大修館書店	
	副教材	常用漢字クリア（尚文出版）					

学習の目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。 2 論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを深めます。 3 言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとする態度を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第Ⅱ部：論理を活用する 1 自己を見つめて探求する力	○ 読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深めます。	中間 考查
	5月	2 思考を深める 和の思想、間の文化 ミロのヴィーナス	○ 筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味します。	
	6月	3 社会に向かって 志望先への提出書類 志望理由書を書こう	○ 必要な情報を集め、それらを適切に結びつけて、相手の印象に残る志望理由書を書きます。	期末 考查
	7月	自己推薦書を書こう	○ 自分を客観的に見つめ、材料を膨らませて、説得力のある自己推薦書を書きます。	
2 学期	8月	4 視点を変えて 人類の進化から考える「心」の誕生 ロボットに心はあるか	○ 複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深めます。	中間 考查
	9月	クオリアと心	○ 具体例と主張の関係をとらえ、自分の意見をもち、独特の概念や筆者の主張を的確にとらえます。	
	10月	6 現代を考える 政治の本質 「である」ことと「する」こと	○ 筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深めます。	期末 考查
	11月	7 未来に目を向けて 人口減少社会の到来 未来の地図帳 エネルギー耕作型文明への転換	○ 対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかみます。 ○ 日本社会や世界が抱える課題に関心を持ち、考えを広げたり深めたりします。 ○ 対比の役割に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	
3 学期	1月	豊かさにつながり	○ 論理の展開に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が身に付いている。

評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考查前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。
-----------	--

教科	地理歴史	科目	地理総合	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高校生の地理総合			出版社名	帝国書院	
	副教材	準拠ノート(帝国書院)					

学習の目標	1 様々な地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図等を利用する技能を身に付けます。 2 地球的課題が互いに関係合っていることを理解し、持続可能な取組について考えます。 3 人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1部 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図	○ 地球儀や様々な地図から地図や地理情報システムの役割や有用性を理解します。	中間 考查
	5月	2節 地図と地理情報システム 2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域	○ 領土問題、世界の国々の結びつきについて地図を通して多面的・多角的に考察し表現します。	
	6月	2節 地図から見る国内や国家間の結びつき		
	7月	第2部 1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	○ 世界の生活文化の多様性の背景や世界の生活文化の相互関係を見いだすための地理的見方・考え方を身に付けます。	
2 学期	8月	3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	○ 世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現します。	中間 考查
	9月	5節 多様な生活文化と地理的環境 ・東アジア ～ アフリカ ・ヨーロッパ ～ アメリカ ・オセアニア	○ 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだします。	
	10月			
	11月	2章 地球的課題と国際協力 序説 複雑に絡み合う地球的課題 2節 食料問題	○ 国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解します。	
	12月	3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題		
	1月	6節 地球環境問題	○ 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解します。	
3 学期		第3部 1章 自然環境と防災 2章 生活圏の調査と地域の展望		学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したりしている。
評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、課題レポート、授業ノート、単元ごとのまとめなどの提出物を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 主体的に教科書を読むなど、授業の中で分からないことを解消させていきましょう。 2 小テストや定期考查に備えて、計画的に学習に取り組みましょう。 3 提出物は期限を守って必ず提出するようにしましょう。		

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3年(園芸クリエイト科 選択)	単位数	2
教材	教科書	高校数学Ⅱ			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 指数関数、対数関数、微分と積分についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	3章 いろいろな関数 3節 指数関数	○指数が0や負の整数および分数の場合について、指数法則を用いて計算ができるようにします。	中間 考查
	5月			
	6月	4節 対数関数	○対数の定義を学び、対数の性質を用いて対数の計算ができるようにします。	期末 考查
	7月			
2 学期	8月	4章 微分と積分 1節 微分の考え	○微分係数や導関数を定義し、その求め方を理解するとともに、微分係数を利用して接線の傾きや方程式を求めることができるようにします。	中間 考查
	9月			
	10月		○導関数の符号から関数の増加、減少を考え、極値を求め、グラフをかくことができるようにします。	期末 考查
	11月			
12月	2節 積分の考え	○不定積分や定積分を求めることができるようにします。		
3 学期	1月		○定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができるようにします。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	指数関数や対数関数及び微分と積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	指数関数や対数関数の性質を用いて、日常生活における様々な事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、微分と積分の性質に着目し、関数の増減及び直線や曲線で囲まれた図形の面積について論理的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を身に付けようとしている。

評価の方法	定期考查の得点や授業態度、活動状況・課題・小テスト・プリントやノート等の提出物などを各学期で観点別に評価します。それらの評価を用いて学年末の成績とします。
-------	---

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えてみましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	---

教科	理科	科目	生物基礎	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高校 生物基礎 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	サンダイアルNavi&トレーニング生物基礎(啓林館)、生物基礎実験ノート・問題集(高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 3章 生物の体内環境とその維持 2節 体内環境の維持のしくみ	○問題演習を通して2年次の学習内容の復習をします。	中間考查
	5月 3節 免疫	○免疫とそれに関わる細胞の働きについて理解します。	
	6月	○生物の体内環境の維持に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めます。	期末考查
	7月		
2学期	8月 4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移	○生物の多様性と生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識します。	中間考查
	9月 2節 気候とバイオーム	○陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解します。	
	10月 3節 生態系と物質循環	○気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解します。	期末考查
	11月 4節 生態系のバランスと保全	○生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解します。 ○生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識します。	
3学期	1月 4節 生態系のバランスと保全【探究活動】	○生物の多様性と生態系に関する探究活動を行い、生物学的に探究する能力を高めます。	学年末考查
	2月		
	3月		

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究している。
評価の方法	定期考查の得点と提出課題、小テストなどを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 授業は集中して臨むこと。また、その日のうちに復習をしましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を行いましょ。う。 3 定期考查には全力で臨みましょう。		

教科	保健体育	科目	体育	学年	3年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。
	2 課題を発見し、その解決に向けて思考し判断する態度を育てます。
	3 公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にする資質や能力を育てます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。	中間 考查 期末 考查
	5月	2 陸上競技	○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。	
	6月	3 球技 I	○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	7月	4 体育理論	○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。	
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	中間 考查 期末 考查
	9月			
	10月	6 陸上競技	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。	
	11月	7 球技 II (その①)	○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	12月	8 体育理論	○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。	期末 考查
3 学期	1月	9 球技 II	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実施を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能が身に付いている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価の方法	授業態度、出席点、スキルテスト、記録、定期考查の得点等日々の学習活動について、観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図り、たくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。
-----------	--

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	Amity English Communication II			出版社名	開隆堂	
	副教材	WORD-MEISTER ワードマイスター 英単語・熟語 1700 (第一学習社)					

学習の目標	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 2 物語や説明文などを読んで、情報や書き手の考えなどを的確に理解する力を伸ばします。 3 基本的な語句や文を使って話したり、書いたりして、英語を用いて伝える力を伸ばします。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	Lesson 8 The Mystery of Colors	○ 色にどのような力があるか、奇妙な写真から色の持つ力について考えます。	中間 考査 期 末 考 査
	5月	Lesson 9 Street Performers	○ ストリートパフォーマーが、夢をかなえるためにどのような道をたどるのかを読み取ります。	
	6月			
	7月	Lesson 10 The Culture of Selfies	○ 「自撮り」の始まりが何かを読み取り、自分を表現する方法について話し合います。	
2 学期	8月	復習		中間 考査 期 末 考 査
	9月	Lesson 11 Finland	○ フィンランドについて、そして私たちの生活との関わりを学びます。	
	10月	Lesson 12 In Order to Live a Happy Life	○ 社会で活躍し、幸せな人生を送るために何が必要かを考えます。	
	11月			
	12月	Reading Cremona	○ クレモナという町に住む日本人バイオリニストについて学びます。	
3 学期	1月	復習		学 年 末 考 査
	2月			
	3月			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 日常的话题や社会的な話題について書かれた文の内容を捉える技能を身に付けている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して表現する技能を身に付けている。	日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりして、書き手や話し手の意図や概要、要点を捉えている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて表現し、コミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしまししょう。		

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	学年	3年(園芸クリエイト科 選択)	単位数	2
教材	教科書	MY WAY Logic and Expression Ⅱ			出版社名	三省堂	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばします。 2 グローバル社会の中で、人としてのものの見方や考え方を養い、自ら考えて表現できる力を養います。 3 世界のさまざまな言語や民族の個性を学び、国際理解のための資質を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	Lesson 1 I Love My Country!	○ 様々な時制の動詞を使って、好きな場所を紹介する原稿を書きます。	中間 考查
	5月	Lesson 2 The New Wave of Sports	○ 助動詞表現を使って、最新のものをご紹介します。	
	6月	Lesson 3 The Future of Technology	○ 受動態や不定詞を使って、贈り物について説明する文章を書きます。	
	7月	Lesson 4 Rediscover Kabuki	○ 不定詞・知覚動詞・使役動詞を使って、日本の文化をご紹介します。	
2 学期	8月	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI?	○ 動名詞や分詞構文を使って、社会の状況と職業についてのレポートを書きます。	中間 考查
	9月	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife	○ 比較表現を使って、世界や日本で有名な場所をご紹介します。	
	10月	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars?	○ 関係詞を使って、火星での生活についてのレポートを書きます。	
	11月	Lesson 8 Language and Society	○ 仮定法を使って、「もし○○がなければ」というタイトルの発表をします。	
3 学期	12月	Lesson 9 Send Our Love to the World	○ 否定表現や代名詞を使って、社会問題についての発表原稿を書きます。	学年 末 考 査
	1月			
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら、外国語で適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いて表現活動を行おうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしましょう。		

教科	農業	科目	課題研究	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	3
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 興味・関心をもてる内容について自ら課題を設定します。 2 計画を立て、毎時間の活動の準備から片付けまでを全て自分たちで行います。 3 課題解決のために、調査・研究・実験・作品制作等を行い、考える力や解決する力を身に付けます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 テーマの設定	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間を有意義かつ無理なく活動するために、自分たちの興味・関心のあるテーマを設定し、テーマ発表を行います。 ○研究テーマに沿った、自分たちの個性的な年間計画をつくります。 ○調査・観察・実験等を通して、日々の活動を正確に記録しながら、科学的な結果を導き出せるよう取り組みます。 	
	5月	2 計画		
	6月	3 調査・研究の開始		
	7月			
2 学期	8月	4 計画の変更	<ul style="list-style-type: none"> ○1学期を終え、自分たちの研究に対して変更や修正の必要がないかを検討します。 ○調査・観察・実験等を通して、日々の活動を正確に記録しながら、科学的な結果を導き出せるよう取り組みます。 ○1年間の活動をまとめるとともに、発表会の準備を行います。 	
	9月	5 調査・研究の開始		
	10月	6 調査・研究のまとめ		
	11月			
	12月			
3 学期	1月	7 発表会	<ul style="list-style-type: none"> ○課題研究発表会を通して、相手に分かりやすく伝える方法や工夫を身に付けます。 	
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	課題研究に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているとともに、自然の大切さを理解している。 課題研究に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に活用して判断し、環境に配慮しながら研究内容を合理的に計画している。	課題研究に取り組む中で、自ら思考を深め、創意工夫する能力を身に付け、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現している。	課題研究について関心を持ち、自ら研究課題を選択し、意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身に付けている。

評価の方法	計画の立案、調査・研究の実施、まとめ、発表、記録簿、研究に取り組む姿勢などを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 1 農業に関する分野の中から、自分の興味・関心のあるテーマを選び研究を行きましょう。 2 授業では学習する機会の少ない資格の取得や、専門的な学習に挑戦しましょう。 3 主体的に考えて取り組み、自分が決めた目標を達成する努力をしましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	総合実習(野菜)	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸生産類型 選択)	単位数	5
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 農業の各分野に関する実験・実習等の体験的な学習を通して、総合的な技術を身に付けます。 2 野菜では、果菜類や葉菜類の栽培実習を中心に組み、基本的な知識や技術を身に付けます。 3 直売所での販売実習など様々な体験を通して流通の基礎について学習します。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 1 野菜苗の栽培	○各種夏野菜苗の育苗、野菜苗販売実習、後片付け・耕起を実習します。 ○栽培ほ場の準備について学習します。 ○定植や灌水、除草の仕方を学習します。 ○人工授粉の仕方について学習します。 ○芽かきの仕方について学習します。 ○整枝や誘引の仕方について学習します。 ○収穫の判断や収穫の仕方を学習します。 ○出荷調整や出荷の仕方を学習します。	期末考查
	5月 2 夏野菜の栽培		
	6月 ナス トマト パプリカ など		
	7月		
2学期	8月 3 秋冬野菜の栽培	○栽培ほ場の準備について学習します。 ○定植や灌水、除草の仕方を学習します。 ○灌水や除草について学習します。 ○追肥や土寄せの仕方を学習します。 ○収穫判断や収穫について学習します。 ○展示・清掃・調整など出荷調整や出荷について学習します。 ○GAPへの取組について学習します。 ○土作りについて学習します。 ○土壌消毒のねらいや方法を学習します。 ○育苗準備の仕方について学習します。	期末考查
	9月 葉菜類の栽培 シュンギク ミズナ ホウレンソウ など		
	10月		
	11月 (菊花展準備)		
	12月 4 生産物工程管理 5 野菜苗の育苗 各種夏野菜苗の育苗		
3学期	1月 各種夏野菜苗の育苗	○播種の仕方や育苗環境を学習します。 ○育苗管理の仕方について学習します。	学年末考查
	2月		
	3月		

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	野菜に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の生育環境や栽培管理を正しく理解している。野菜栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	野菜栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	野菜栽培に関心を持ち積極的に質問に答え、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。

評価の方法	各学期の定期考查の得点、活動・観察記録やノート、実習及び授業や農業クラブ活動に取り組む姿勢等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 活動・観察記録票やノートは丁寧に正確に記録しましょう。 2 栽培を通して各々の栽培技術を理解し、その技術を習得しましょう。 3 野菜栽培に関心を持ち、身近な課題をみつけて観察・調査に取り組みましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	総合実習(果樹)	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸生産類型 選択)	単位数	5
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 果樹に関しての体験的な学習を通して、実際の経営や企画や管理する力等の総合的な技術を身に付けます。 2 果樹の栽培を中心に、栽培から加工・デザインまでの幅広い学習を行います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 カンキツの剪定	○カンキツの栽培管理を理解し、技術を習得します。	期末 考查
	5月	2 ブドウ管理 誘引・わき芽処理	○ブドウの栽培管理を理解し、技術を習得します。	
	6月	3 ブドウ管理 摘房・袋掛け GAP	○ブドウの栽培管理を理解して技術を習得し、GAPの取得方法を学習します。	
	7月	4 カンキツの管理 摘果	○カンキツの栽培管理を理解し、技術を習得します。	
2 学期	8月	5 ブドウの管理 収穫・調整	○ブドウの栽培管理を理解し、技術を習得します。	期末 考查
	9月			
	10月	6 カンキツの管理 収穫	○カンキツの栽培管理を理解し、技術を習得します。	
	11月			
	12月			
3 学期	1月	7 カンキツの管理 収穫・剪定	○カンキツの栽培管理を理解し、技術を習得します。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	果樹に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、果樹の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。 果樹栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	果樹栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	果樹栽培に関心をもち積極的に質問に答え、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。
評価の方法	各学期の定期考查の得点と授業時の活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 実験・実習等の体験的な学習を通して、総合的な技術を身に付けましょう。 2 果樹の栽培を中心に、栽培から加工・デザインまでの幅広い学習に取り組みましょう。 3 目標を達成するため、積極的にみんなと協力して取り組みましょう。		

教科	農業	科目	総合実習(草花)	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	5
教材	教科書	特になし				出版社名	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 草花栽培の基本的な知識を再確認するとともに、より高度な鉢花栽培を行います。 2 販売準備や販売を通して必要な知識・技術の習得を図り、一般に通用する鉢花栽培を目指します。 3 様々なテーマを基にした「プロジェクト研究」を行います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第5章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ② キク ③ カーネーション	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栽培温度や開花習性について学ぶとともに、販売を通して一般に通用する草花の品質を学習します。 ○ 大懸崖菊の栽培を行い、菊の栽培管理について学習し、技術を習得します。 ○ カーネーションの栽培管理について学び、栽培・管理の技術を習得します。 ○ ラン類の生態と特徴や生育の特性を学習します。 	中間考查 期末考查
	5月			
	6月	第6章 鉢もの生産 第4節 ラン類 ③ シンビジウム		
	7月			
2 学期	8月	第5章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ② キク	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大懸崖菊や福助菊の栽培を行い、菊の栽培管理について学習し、高品質な販売物の生産について知識・技術を習得します。 ○ シクラメンの葉組みや追肥、出荷調整を行い、栽培管理についての知識・技術を身に付けます。 ○ ポインセチアの定植や追肥、短日処理を行い、栽培管理についての知識・技術を身に付けます。 ○ ラン類の開花調節と生産の技術を学習します。 	中間考查 期末考查
	9月	第6章 鉢もの生産 第3節 鉢花 ② シクラメン ⑥ ポインセチア		
	10月			
	11月	第6章 鉢もの生産 第4節 ラン類 ③ シンビジウム		
	12月			
3 学期	1月	第5章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ③ カーネーション	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栽培管理や栽培環境について学ぶとともに、鉢物栽培の基本的な管理作業を身に付けます。 ○ カーネーションの鉢上げ・定植を行うとともに、温度管理技術の習得に取り組みます。 	学年末考查
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	草花に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。草花栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	草花栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	草花栽培に関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。
評価の方法	各学期の定期考查、課題・小テスト・ノート、実習及び授業に取り組む姿勢や栽培物の管理状況等を観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 卒業後も草花栽培のプロとして、様々なニーズに対応できる学習を行いましょう。 2 生産や販売に真剣に取り組むことで、責任感や達成感を感じられる学習をしまししょう。 3 プロジェクト学習を通して、自ら考え行動する力を身に付けましよう。		

教科	農業	科目	野菜	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸生産類型)	単位数	3
教材	教科書	野菜			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得します。 2 野菜の特性や栽培に適した環境を理解します。 3 品質の向上と生産性を考える能力と態度を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第4章 野菜栽培の実際 ウリ科野菜の栽培	○メロンの特徴、生育環境を理解します。 ○栽培の流れを学び、計画を立てます。 ○栽培土、定植の仕方を理解します。 ○管理機の操作について学習します。 ○整枝の管理作業や観察をします。 ○誘引、受粉、追肥の作業を理解します。 ○玉つり、摘果の管理作業を理解します。 ○病虫害防除について理解します。 ○動力防除機の操作について学習します。 ○収穫の判断や収穫方法を理解します。 ○栽培の評価や実習のまとめ方をします。 ○GAPの取り組み方を学習します。	期末考查
	5月	1 特徴、育苗、畑の準備 2 生育の特徴、定植・誘引 3 栽培管理と商品化、整枝		
	6月	4 人工授粉・整枝・施肥 5 玉つり・人工授粉 6 病虫害防除・摘果		
	7月	7 収穫期の判断、観察調査 8 収穫・観察・調査 9 収穫・観察・調査		
	8月	第4章 野菜栽培の実際 軟弱野菜の栽培		
9月	1 野菜としての特徴 2 畑の準備・播種・苗作り 3 生育の特徴 生育と環境			
10月	4 栽培管理と商品化 作型と品種 5 追肥 6 病虫害防除			
11月	7 生育障害とその対策 8 収穫・観察・調査 9 収穫調整・出荷			
12月	第3章 野菜の栽培と環境管理 果菜類の育苗			
3 学期	1月	3 育苗の実践 4 育苗の環境	○電熱温床のしくみと特徴を理解します。 ○土づくりや育苗の準備を理解します。 ○播種の仕方や発芽の様子を観察します。 ○接ぎ木後の管理について理解します。	学年末考查
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		野菜に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の生育環境や栽培管理を正しく理解している。 野菜栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	野菜栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と授業時の活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 活動・観察記録票やノートは丁寧に正確に記録しましょう。 2 野菜栽培を通して、栽培技術を理解し、習得しましょう。 3 野菜栽培に関心を持ち、身近な課題をみつけて観察・調査に取り組みましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	果樹	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸生産類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	果樹			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 ブドウやカンキツ栽培の体験的、探究的な学習を通して、果樹に対する興味・関心を高めます。 2 ブドウやカンキツの特性や生理を知り、生産性の向上を図る能力や態度を養います。 3 施設栽培とGAPについて学び、GAP取得のための基本的知識を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第7章 ブドウ 第1節 栽培上の特性と品種	○ブドウの品種とその特性等を学びます。 ○芽かき、摘心、誘引について学びます。	期末 考査
	5月	第2節 生育のすがたと栽培管理 1 新梢管理	○摘穂、摘房について学びます。 ○植物成長調節物質の種類と作用について学習し、ジベレリン処理を実習します。	
		2 結実管理	○ブドウの整房の目的と方法を学びます。	
		3 土壌管理と施肥	○ブドウの摘粒の目的と方法を学びます。 ○ブドウの袋掛けを実習します。	
6月	4 袋掛け 5 病虫害防除			
7月	第4章 カンキツ類 第1節 栽培上の特性と品種	○品種とその特性等を学びます。		
	第2節 生育のすがたと栽培管理 1 摘果	○摘果の目的と方法を学びます。		
2 学期	8月	第7章 ブドウ 第3節 収穫・選別・出荷・貯蔵	○ブドウの収穫について学習します。	期末 考査
	9月	第4章 カンキツ類 第2節 生育のすがたと栽培管理 2 土壌管理と施肥	○カンキツの土壌管理と施肥を学びます。	
		10月	第3節 収穫・選別・出荷・貯蔵と加工 1 収穫・貯蔵(実習)	
	11月	2 選別・販売(実習) (菊花展ミカン販売)	○選別・販売方法を学習します。	
	12月	第4節 植え付けと更新 果樹	○カンキツの苗木の養成・植え付けや更新方法を学びます。	
3 学期	1月	第5節 施設栽培とGAP	○施設栽培の管理やGAPの取得方法を学びます。	学年 末考査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	果樹に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、果樹の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。 果樹栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	果樹栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	果樹栽培に関心をもち積極的に質問に答え、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。

評価の方法	各学期の定期考査の得点と授業時の活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 ブドウの管理方法を実習によって学習し、ブドウの適切な栽培管理を身に付けましょう。 2 カンキツ類の生育のすがたを理解し、カンキツの適切な栽培管理を身に付けましょう。 3 カンキツの加工方法を理解し、6次産業化に対応した能力を養いましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	草花	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	3
教材	教科書	草花		出版社名	実教出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 草花を育てる技術を身に付けるとともに、品質と生産性の向上など草花栽培について学習します。 2 草花栽培の面白さと奥深さを体験し、草花栽培に対する関心や意欲を醸成します。 3 草花について、専門的に学び、草花のスペシャリストを目指します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第4章 草花の特徴と栽培技術 第1節 草花の生育と環境 第2節 品種改良と繁殖	○ 草花の一生について学習します。 ○ 草花の品種と品種改良技術、繁殖方法について学習します。	中間 考査 期 末 考 査
	5月	第5章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ②キク	○ 懸崖菊の栽培管理技術について学習します。	
	6月	③カーネーション	○ カーネーションの栽培管理と出荷調整について学習します。	
	7月			
2 学期	8月	第4章 草花の特徴と栽培技術 第3節 草花の生育と栽培技術 第4節 生産施設と栽培環境の調節	○ 草花の生育と栽培管理について学習します。 ○ 生産施設の機能や構造、複合的環境制御について学習します。	中間 考査 期 末 考 査
	9月	第5章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ② キク	○ 懸崖菊の栽培管理と開花調節技術について学習するとともに、菊花展を通して販売と販売準備について学習します。	
	10月	第6章 鉢もの生産 第3節 鉢花もの ② シクラメン	○ シクラメンやポインセチアの栽培管理と出荷調整について学習します。	
	11月	④ ポインセチア		
12月				
3 学期	1月	第5章 切り花生産 第2節 切り花の品質保持	○ 切り花の品質と品質管理技術について学習します。	学 年 末 考 査
	2月	第8章 草花経営の改善 第1節 草花の生産と経営	○ 環境保全型草花生産と環境認証プログラムについて学習します。	
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	草花栽培についての知識を高め、基礎的・基本的な内容を理解している。 草花栽培の実習を真剣に取り組む、定植・整枝・誘引・育苗などの技能を身に付けている。	学習の内容を記録・観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	各学期の定期考査、課題・小テスト・ノート、実習及び授業に取り組む姿勢や栽培物の管理状況等を観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 懸崖菊の栽培を中心として、草花の高品質栽培について学習しましょう。 2 基本的な知識・技術だけでなく、園芸的なセンスも鍛錬しましょう。 3 難易度の高い栽培管理を通して、完成したときの達成感を味わいましょう。		

教科	農業	科目	地域資源活用	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸生産類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	地域資源活用			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	時代とともに移り変わる農山村の意義と役割を学びます。
	2	農山村振興における地域資源活用の意義を学びます。
	3	地域資源の特性と活用の方法を学びます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月	第1章 地域資源活用とは 第1節 地域資源とその活用	○時代とともに移り変わる農山村の意義と役割を学びます。 ○ジャガイモの栽培をします。	中間考查
	5月	第2節 地域資源活用とプロジェクト学習	○農山村振興における地域資源活用の意義を学びます。	
	6月	第2章 農山村社会の変化と地域振興 第1節 農山村と都市の現状と変化 第2節 地域活性化に向けた施策・取組	○農山村と都市の歴史や役割、変化を学びます。 ○農山村における自然と共生した農的暮らしについて学びます。 ○イネを栽培します。	期末考查
2学期	8月	第3章 地域資源活用の意義と役割 第1節 地域資源の魅力と価値 第2節 地域振興に向けた施策と取組	○農林業や農山村の特徴とその魅力を理解します。 ○地域資源を活用した農村の暮らしを知り様々な活用方法を考えていきます。	中間考查
	9月	第3節 異業種連携と商品価値の創造 第4節 地域資源活用の実践と課題 第5節 情報の活用と発信	○農山村の環境や景観の特徴を理解します。	
	10月	第4章 地域資源の価値と活用 第1節 地域資源の調べ方と活用 第2節 観光への活用	○歴史の資源を生かした地域づくりの考え方を理解します。	
	11月	第3節 商品開発への活用 第4節 サービス業への活用 第5節 教育・福祉への活用	○サトイモを栽培します。 ○様々な人々の連携による知恵の活用と役割分担の重要性を学びます。	期末考查
	12月			
3学期	1月	第5章 地域と連携した活用 第1節 地域資源のマーケティングとブランドづくり	○地域資源のマーケティングとブランド化の特徴を学びます。	学年末考查
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地域資源に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、地域資源の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。 地域資源栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	地域資源に関する作物の栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	地域資源作物に関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。

評価の方法	各学期の定期考查の得点、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 地域資源作物の種類と分類を学び、作物の利用と食品の価値の重要性を理解しましょう。 2 地域資源作物の根・枝・葉の成長と開花と結実を学び、作物の成長を理解しましょう。 3 地域資源作物の土壌や栄養と施肥、水分管理を学び、経営改善の方法を理解しましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	食と健康	学年	3年(園芸クリエイイト科 選択)	単位数	3
教材	教科書	食と健康			出版社名	今治南高等学校	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 ダイズの栽培から加工までに必要な知識と技術を実習を通して習得します。 2 ジャム・ビスケット・麺類・ハム・ベーコンなどの加工食品の製造工程を理解します。 3 地産地消や安心安全な食品についての知識や技術を習得します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第1章 食と生活のつながり	○食育基本法の意義や背景を学習します。 ○私達の食事と世界や健康とのつながりを学習します。	中間考査 期末考査
	5月	第2章 ダイズの特徴	○豆の種類について学習します。 ○ダイズの特徴について学習します。	
	6月	第3章 穀物の加工	○マドレーヌの製造工程を学習します。	
		第4章 ダイズの栽培	○ダイズの栽培について学習します。 ○ダイズの播種について実習を行います。	
	7月		○畑の準備を実習します。 ○ダイズの定植実習を行います。 ○定植後の管理実習を行います。 ○中耕・除草・土寄せの実習を行います。	
2 学期	8月		○中耕・除草・土寄せ・病害虫防除の実習を行います。 ○ダイズの結きょうの観察を行います。	中間考査 期末考査
	9月	第5章 発酵醸造食品	○味噌・醤油の製造工程を学習します。	
		第6章 GAPとHACCP	○GAP制度について学習します。 ○GAPとHACCPへの取組を学習します。	
	10月	第7章 小麦の加工	○パンの製造工程を学習します。 ○パンの製造実習を行います。	
	11月	第8章 ダイズの加工	○うどんの製造工程を学習します。 ○豆腐の製造原理や工程を学習します。 ○豆腐の製造実習を行います。	
12月	第9章 畜産物の加工	○ハム・ベーコンの製造を学習します。 ○ハム・ベーコンの製造実習を行います。		
3 学期	1月	第10章 食と郷土の関わり	○地産地消について学習します。	学年末考査
	2月			
	3月			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	食と健康に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生産物の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。 製造実習に関する基礎的な技術を身に付けている。食品加工の製造工程を正しく理解してその技術を適切に活用している。	食と健康に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	食と健康に関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。

評価の方法	各学期の定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 食品製造実習を行うので、衛生的で正確な実習を心掛けましょう。 2 ダイズの栽培から加工のプロジェクト学習を行います。正確な記録を心掛けましょう。 3 身の回りの食品表示や包装に気をかけて、安心安全な食品に興味関心をもちましょう。
-----------	--